

【研究課題名】

肥満症患者における基礎代謝の検討

【研究の意義・目的】

肥満症の治療は食事および運動療法が基本ですが、高度の肥満者では運動療法が困難な場合が多く、食事量の調節が治療の鍵となります。エネルギーバランスは摂取エネルギーと消費エネルギーの総和で規定されており、エネルギー摂取の内訳は全て食事ですが、エネルギー消費の内訳は約 60%が基礎代謝、6-10%程度が摂食による熱産生、30%程度が身体活動によって生じることが知られています。このようにエネルギー消費における基礎代謝の占める割合は高く、運動が期待できない重度の肥満者では減量目的で食事量を設定する際、基礎代謝を把握する必要が生じます。本研究では、既に退院した肥満症治療患者さんの診療情報を用いて研究を行い、今後の肥満治療に役立てることを目的とします。

【研究方法】

過去に減量目的で入院した患者さんの中で、Body mass index が 25 以上の肥満症患者さんを対象に、間接熱量測定器を用いて測定した基礎代謝値と食事量（摂取カロリー）を比較し、入院中の減量効果を検討します。得られたデータについては名古屋大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科医局において解析を行います。研究期間は本研究が倫理委員会に承認されてから 2022 年 3 月 31 日までとします。研究成果は論文等により公開いたしますが内容には個人のプライバシーに関わることは一切含みません。

【費用について】

診療録の臨床所見を使用して行う後ろ向き研究ですので、この研究に際してあなたに費用の負担をお願いすることは一切ありません。

【保有する個人情報に関して】

皆様の資料を分析する際には、氏名・住所・生年月日などの個人情報を取り除き、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で（連結可能匿名化）、厳重に保管します。

【問い合わせ・苦情の受付先】

○問い合わせ先

名古屋大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 尾上剛史

（電話 052-744-2142、ファックス 052-744-2206）

○苦情の受付先

名古屋大学医学部経営企画課：(052-744-2479)